

# KURE KOSEN

 National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

## 呉高専だより



全国高専ロボコン2019全国大会：特別賞「マブデモーター賞」  
全国高専ロボコン2019中国地区大会：優勝/技術賞/特別賞「安川電機賞」



デザイン2019 in TOKYO  
空間デザイン部門：審査員特別賞

デザイン2019 in TOKYO  
構造デザイン部門：審査員特別賞

呉高専と保護者をつなぐ情報紙



### 目次

●校長あいさつ 呉高専卒業生としての自信と誇りをもって	2
●役職員あいさつ プロの凄さ！！ 麒麟がくる 荒海に乗り出すみなさんへ 将来への志のために はじめまして 新専攻4年目を終えて 学生相談室のすすめ グローバルを身近に インキュベーションスクウェア シヨールームもリニューアル	3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5
(後援会会長 藤野 聖一) (副校長 黒木 太司) (教務主事 木原 滋哉) (学生主事 西坂 強) (寮務主事 松野 一成) (専攻科長 中迫 正一) (学生相談室長 佐賀野 健) (国際交流室長 神田 佑亮) (地域実践教育センター長 林 和彦) (広報室長 間瀬 実郎)	
●卒業生・修了生へ 機械工学科 卒業おめでとうございます 電気情報工学科 ご卒業おめでとうございます 環境都市工学科 ご卒業おめでとうございます 建築学科 また、お会いしましょう 専攻科 修了おめでとうございます	6 6 8 10 10 12 14
<担任> 山田 祐士 <担任> 平野 旭 <担任> 神田 佑亮 <担任> 岩城 考信 <専攻科長補> 藤井 敏則	
●進路速報(2020年1月現在) 2019年度卒業・修了予定者 就職・進学速報	16
●2019年度の呉高専日誌から 教育・研究 インキュベーションワーク クラブ活動 グローバル イベント等	18
●部活動の成果、受賞実績 新聞・TVに載った呉高専	23
●教育改革の成果	24



## 呉高専卒業生としての自信と誇りをもって

校長 篠崎 賢二

卒業生の皆さん方は、呉高専に5年間もしくは7年間に在籍され、たくさんの方の事を勉強し、また、経験もしてきたと思います。これを糧として、卒業後は、大学または大学院に進むなり、就職するなりして、それぞれの場において、また、新たな進路を歩むこととなります。

今日、日本は超高齢化社会に突入し、世の中では70歳まで働きたい、働かなければならないと思う人たちが40%います。仮に皆さん方が、70歳まで働かなければならないとすれば、本科卒業生ですとこれから50年あります。半世紀となれば、今は遠い先の話と感ずるでしょう。私もそうでした。でも、今振り返れば、瞬間に過ぎたというのが、正直な感想です。そうは言っても、これから先、道のりは長いです。この間、様々な時期において、進路の選択をしなければならない時が必ずあります。また、壁にぶつかり思い悩む事もあるでしょう。実は、昨年2月に研究室の先生に最終講義を行う機会を作っていただき、今までを振り返る機会を得ることができましたので、皆さんより先に歩んできた者として、私がどのように進路を選択してきたかをお話したいと思えます。

私は、昨年3月末に広島大学を65歳で定年退職し、大学教員を皆さんと同じように、卒業しました。1972年に、日本に一つしかない、大阪大学工学部溶接工学科に入学し、大阪大学で12年間、広島大学で25年間、大学教員として溶接・接合工学の教育・研究に携わりました。大学生時代を合わせ、47年間、大学に在籍したことで、得た教訓は、「いつも前向きに、楽しく、おもしろいと思ひながら、コツコツと仕事をしておれば、世の中には必ずそれを見てくれる人々がいる。その人々が、助けになってくれる。」ということです。

私の仕事を振り返れば、大学選びから始まります。第一希望ではなかったのですが、溶接工学科を選び、結果的に最後まで溶接・接合に関わる仕事につくことになりました。学部4年生での卒業研究の研究室配属で、興味を持っていた溶接冶金学の講義をされていた先生の研究室を選びました。この先生が、最初の恩師です。卒業研究の過程で、わからないことを明らかにする研究という作業が大変おもしろくなり、博士課程まで進む決心をしました。自分で言うのも何ですが、この頃は研究に没頭していました。修士課程、博士課程へ進み、博士課程を終える段階で、進む先として企業か、大学かの選択がありました。恩師の勧めで大学教員になりました。若手教員時代、恩師からカナダの大学の先生を紹介していただき、ポストド

として研究に携わるとともに、以来その先生とは30年以上のおつきあいとなりました。その先生を通じて、カナダ、アメリカ、ドイツ、イギリスの大学の先生方と知り合い、今も交流を続けています。40歳前に、広島大学の先生からお誘いを受け、広島大学に赴任しました。この先生のお陰で、広島大学で色々な先生方と一緒に研究をすることができ、新たな研究テーマの発展に繋がりました。広島大学在任中には、大病を患いましたが、大学病院の優秀な先生方のお陰で回復し、定年を迎えることができました。また、定年間近に、呉高専への赴任のお誘いをいただき、今に至っています。

大学教員になる時、海外留学する時、大学を移る時、大学を辞める時、困らずいつも多くの先生方の助けを受けてきました。私もお世話いただいた先生方から受けたご恩を研究室の学生達に返すべく、学生を指導してきました。大学院生・教員(大阪大学、広島大学)として、卒業研究指導した学部4年生(学部卒)は11名、修士学生(学部および修士卒)は109名、博士学生は17名でした。

その中で、広島大学で研究指導した高専出身生は5名いました。和歌山高専2名、佐世保高専2名、新居浜高専1名です。また、他研究室ですが、色々研究のアドバイスをした呉高専出身生が3名います。彼らは、全員大学院に進学し、現在、製鉄会社、重工業メーカーに勤め、一人は大学教員になり、それぞれに活躍の場を見つけ頑張っています。彼らの研究室での仕事を思い出すと、皆、優秀でした。自分たちで実験装置を工夫して作り、積極的に実験を進めていました。このような姿勢は、やはり高専で培われたものと思えます。

4月の始業式では皆さんに、こう言いました。「常に「これは何でだろう?」、「なぜ、これをやるのだろうか?」、「何のために、やるのだろうか?」ということを自問自答すること。すなわち、自分の考え、行動を常に客観的に見る癖をつけること。そうすれば、そう大きく道を外れることはありませんし、無駄な時間を使うことはないと思えます。」毎年、研究室を卒業する学生達に、「研究室で十分トレーニングしたので、自信を持って社会に出て行きなさい。また、仕事をおもしろいと思ひながらやりなさい。」と言って送り出していました。

皆さんも、本校で十分なトレーニングを受けてきています。呉高専卒業生としての自信と誇りをもって、これから先の人生を歩んで行ってほしいと思えます。

## 役職員あいさつ



### プロの凄さ！！

後援会会長 藤野 聖一

本科卒業生、専攻科修了生のみなさんご卒業、ご修了おめでとうございます。

私も5年間の後援会役員活動をみなさんと一緒に卒業します。これまで学生のみなさんをご指導いただいた校長先生を始め教職員のみなさま、至らぬ会長を温かくサポートしていただいた後援会役員のみなさま、そして何よりもいつも元気とパワーを与えていただいた学生のみなさんに改めて感謝いたします。

先日「プロの凄さ」を目の当たりにしましたので、そのお話をします。笑点でもお馴染みの林家たい平師匠の落語を観る機会がありました。大変楽しみにはしていましたが、たい平師匠は笑点では若手のイメージが強く「ホントに面白いのかなぁ？」と懐疑的な思いがあったのも事実です。落語会はお弟子さんの落語で始まりました。「古典」と言われる演目のひとつだと思いましたが、一向に笑えませんでした。落語をやることに精いっぱい

観客を楽しませる余裕がない印象です。一方、たい平師匠の落語はと言うと「マクラ」で観客を引き付け「本題」では笑いの渦に巻き込みながら、ほろっとさせ、「サゲ」であっと言わせるさすがの話術でした。

終わった後、ホール全体を幸せな気分させる不思議な感覚に包まれました。これが「プロの凄さ」だと強く感じました。笑点に若くして抜擢され、それ故のプレッシャーや苦労も多かったと思いますが、倦まず弛まず努力された結果だと思えます。

さて、みなさんは呉高専での学生生活を終え次のステージに進まれます。みなさんには呉高専で培った高い技術をベースに夢を持ってチャレンジしていただきたいと思えます。とはいえ、最初はお弟子さんのレベルです。まずは、自分のことを精いっぱいやって下さい。そして、いつかは周りの人を「元気」にし、「幸せ」を感じてもらえる「プロ」になって欲しいと思えます。



### 麒麟がくる

副校長 黒木 太司

紆余曲折しましたがやっと放送が開始しました。史実に乏しく三日天下で終わった戦国武将明智光秀を如何に霊獣麒麟として描くか、今後の展開に期待したいところです。では皆さんは「山陰に麒麟児あり」と言われた武将をご存じだろうか？ 毛利元就によって滅ぼされた出雲尼子家の再興を画策した尼子十勇士筆頭山中鹿之助幸盛です。多くの武勲をあげましたが、難攻不落の誉れ高い月山富田城陥落後、毛利氏との三度にわたる壮絶な戦いの末に上月城で敗れました。鹿之助はこの激戦下尼子家再興のため「願わくは我に七難八苦を与えたまえ」と三日月に祈ったとされています。この言は大日本帝国時代に愛国心を鼓舞するにふさわしい教材とされましたが、現代にあっては、「多くの苦難を経験することで心身ともに鍛錬され、人間として今以上に強くなってゆく」と解釈したい。

しかしながら自ら艱難辛苦に身を委ね難い現在、如何に自らを

成長させるべきか悩むところですが、昨年末、封建的体制とは程遠い人と思いきイチローをして、故郷の野球少年たちに「厳しく教わるのが難しい今、最終的には自分で自分を教育しないとけない」と言われしました。

ではかかる自律心をどのように育むかが最後の問になりますが、人生の目標を明確に定めることこそ衆目の一致するところでしょう。皆さんが生まれた1999年代はスマホの原型であるPHS・携帯電話が爆発的に普及し、老若男女を問わずこれらを保有するようになりました。私事で恐縮ですが、当時自らも通信機開発の一端に携わっていたことから「国民のための仕事ができたと技術者冥利に尽きる自負がありました。

こう考えてみると若い皆さんの将来も明るい。皆さんが本校で学んだ技術をもとに世界を動かし、変えてみようじゃありませんか。皆さんの無限の可能性を心から応援したい。

# 役職員あいさつ



## 荒海に乗り出すみなさんへ

教務主事 木原 滋哉

現在起きている地殻変動は、私たちの予想をはるかに越えています。世界の動きを見渡すと、地球温暖化の加速化、IoTやAIの浸透、近い

将来のガソリン自動車廃止など、地元地域を見ても、製鉄所の撤退、少子高齢化の進行など、卒業するみなさんが入学したときに予想できたものがいくつあるでしょうか。これらの変動に対して、呉高専5年間で学んだ知識で対処できるかといえば、はなはだ心許ないかぎりです。

呉高専の5年間と比べると、卒業後に社会で学ぶ期間のほうが圧倒的に長いです。荒海の中で学ぶことのほうが多いはず。知識だけでなく学び続ける態度をもって、荒海に乗り出してほしいと思います。呉高専も、地殻変動に対応するために進化し続けることによって、呉高専も頑張っているな、と感じてもらい、卒業するみなさんを励まし続ける存在でありたいと思います。



## 将来への志のために

学生主事 西坂 強

学生達が将来社会へ旅立つ際、成人として相手を尊重し協力し競い合うことのできる考えを持つ人材を育てるために、厳しさの中で優しさを加味できる育成指導を行っています。具体的な指導項目は①挨拶のできる学生②身なりの整った学生③ルール・マナーを遵守できる学生④クラブ活動において積極性、協調性を実践できる学生の4項目を基本としています。特に、学生主事室は学生会と話し合いながら、より良い学校になる為に学生達と向き合っています。挨拶と身なりについては、教職員からの率先垂範をお願いして小さな花が数多く咲きつつあります。

しかし、スマホ等による迷惑行為やルール・マナーの守れない事例があり、重い処分指導となることも発生しています。SNS関係の迷惑行為によって修学の継続が難しい学生が出ない様、事前に日常からの指導を厳しくする方向で学生指導を進めています。一方、クラブ活動では、チーム目標、グループ目標、そして個人目標を各自が設定し全国で常に活躍できる内容にステップアップしながら、学生間、コーチ、顧問、OB、OGそして保護者と連携した体制を通し、目標のためのリーダーシップやメンバーシップを養い、人として成長してくれることを期待しています。

卒業する学生諸君は、社会人として世間に迎えられる第一歩は自身の規律と行動となります。母校で体験した挨拶や身なりに加え自らが確りとした責任行動が出来るよう、新しい扉を開けて歩んで行ってもらいたいと願っています。



## はじめまして

寮務主事 松野 一成

4月から寮務主事になりました松野一成です。親元を離れて暮らす寮生全員が、少しでも快適に過ごせるように、日々改善していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

寮生は通学生とは異なり、食事以外の身の回りのことの多くを自分でしなければなりません。多くの寮生は中学生まで、決まった時間になれば食事が用意されている生活、脱いたものが洗濯され、きれいになって出てくるという生活をしていただと思います。それがどれほどありがたかったことが実感できたときに、自立した生活への第一歩を踏み出したこととなります。

学業においても通学生より優位な点が多々あります。授業でわからないことがあった時には、同室や隣室の同級生、先輩たちに聞くことができます。わからないことをそのままにせず、すぐに明らかにできるという点は非常に有意だと思えます。しかし、寮には勉強しろといってくる人がいません。つまり、自分自身で律すること、自律することが求められます。これができない場合、勉強についていけなくなることもあります。しっかりと自律できるようになってもらうために寮では、勉強に集中できるように静粛時間を設けております。

卒業まで寮生活を続けると、通学生には得難いものをたくさん手に入れることができます。それが何かを自分自身で見つけてくれることを願っております。そのためにしっかりとバックアップすることが私の役割だと思っております。



## 新専攻4年目を終えて

専攻科長 中迫 正一

新専攻「プロジェクトデザイン工学専攻」に改組後4年目を終えました。本年度の応用研究・特別研究では、土木学会全国大会、日本

設計工学会春季大会及び日本経営工学会春季大会など、全国規模の学会発表において優秀講演者として表彰されています。また、プロジェクトデザイン工学演習の取り組みとして参加した、全国高専デザインコンペティションにおいても審査員特別賞を受賞することができました。

さて、新専攻においては、主専攻(機械、電気情報、環境都市、建築)の専門分野を深めながら、異分野と協働して複合的な素養を身に付けることを教育目標のひとつとしています。一方、在学生からは本科で修得した主専攻について、さらに深く学修したいとの声が寄せられています。

次年度は、カリキュラムの改訂を含め、学生にとってより魅力ある専攻科となるよう取り組みたいと考えています。



## 学生相談室のすすめ

学生相談室長 佐賀野 健

高専に在学する5年間という期間は、勉強、クラブ、家庭、恋愛、友人関係など、さまざまな問題を抱える時期であると思います。悩みがないように見える人でも、結構悩みを持っていることが多いものです。

そのような悩みや問題に直面したときに皆さんはどうしますか。呉高専には学生相談室があり、いろいろな相談に対して話を聞いてくれるカウンセラーも週4日待機してくれています。あまり知られていないことかもしれませんが、高専機構としても、学生相談に関する予算を拡充する方向にあります。これによりカウンセラーの来校日も以前より増えています。

高専にこのような場所があるのに、利用しないというのはもったいないような気もませんか。学生相談室でカウンセリングを受けるということが、何か特別なことのように思っていないですか。何か問題が生じたとき、ぜひ学生相談室を利用してみてはいかがでしょうか。気持ちが楽になったり、問題解決のきっかけがつかめるかもしれませんよ。「学生相談室をもっと身近なものに！」今の私に与えられた課題です。



## グローバルを身近に

国際交流室長 神田 佑亮

今年度の国際交流事業で最もホットなトピックは、「グローバルエンジニア育成事業」に採択されたことでした。この事業は海外との関係がより深くなっていく中、グローバルに活躍できる学生を育成していくことを目指したプロジェクトです。

この事業をきっかけに、海外に行ける留学や研修等のプログラムの拡充を進めています。ただ、いざ「留学」となると、お金をはじめいろいろな不安が出てきます。そうした不安がハンデにならないように、ふだんから「グローバル」に触れる機会を増やすことも重点化しています。例えば「イングリッシュキャンプ」。2泊3日の合宿でディベート力や表現力を徹底強化します。また、留学経験者報告会、各種制度への支援も強化しています。

育成のコンセプトは「英語ができる」ではなく、「グローバルな視野で見識が持てる」こと。そのためのはじめの一歩の後押しと、次のステップへのフォローを、今後もきめ細やかに対応していきます。



## インキュベーションスクウェア

地域実践教育センター長 林 和彦

インキュベーションワークは本年度で5年目となり、組織が地域実践教育センターに変わりました。施設面では、学生が放課後などに自由

のものづくりをする場として「インキュベーションスクウェア」が開設されました。3Dプリンターやレーザー加工機を設置し、木工や金属加工ができる機械や工具がありますので、学生は「つくりたい」と思うものは大よそ加工できるようになりました。スクウェアの運営は教員とTAの学生が日々相談しながら安全第一で行っています。スクウェアでは、学生自主企画のイベントを開催したり、子育て世代の主婦の団体や企業と連携したりと使用者も500人を超え、学生の新しい拠点になりつつあります。インキュベーションワークでは本年度から学生が「やりたい／やってみたい」ことに「TRY」することを活動の中心にする方針にしました。スクウェアが今後学生の「TRY」する場としてもっと活用されることを期待しています。



## ショールームもリニューアル

広報室長 間瀬 実郎

図書館棟の改修に伴って、呉高専の活動を立体的に展示してきたショールームが、昨年7月に一時閉幕しました。このショールームは2013年8月に開設され、毎年4～5回程度、広報室の企画による展示替えを行い、この6年間に合計28テーマの展示をしてきました。

主なテーマは、ロボコン、デザコンなどのコンテスト入賞、運動部の全国高専体育大会の上位入賞、インキュベーションワーク関連、2014年の呉高専創立50周年記念、2018年の豪雨災害直後の教員の災害支援活動や、学生のボランティア活動等の紹介などをしてきました。いずれもその時々本校の活動を表現してきました。

2020年夏に図書館棟がリニューアルオープンした際には、新しく映像を中心とした展示形式に生まれ変わる予定です。これからも是非ご注目ください。

ショールーム展示をはじめ、本校の広報活動にご協力いただいている方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

# 機械工学科



## 卒業おめでとうございます

機械工学科5年担任 山田 祐士

機械工学科五年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの担任をした期間はたった1年という短い時間でしたが、逆にそのことで得難い貴重な経験をする事が出来たと思っています。関係の皆様方、ありがとうございました。本来であれば、4年生の時の担任であった高田先生がそのまま5年生の担任を務められるのですが、諸般の事情により交代することになりました。しかし、交代後も高田先生は学生が不利益を受けることがあってはならないと言われ、4年次からスタートしていた就職活動を翌年も継続してご担当下さり、混乱もなく就職希望者は最終的に全員が無事に内定を頂くことが出来ました。これもひとえに高田先生のご尽力と皆さんの頑張りのおかげだと思えます。改めてお礼を申し上げます。

次に、5年時の4月から始まる進学希望者の受験活動は当然担任の私が担当するのですが、4年次のインターシップ時の調査票や履歴書などを見たことがなく、何も知らない私が直接本人に根掘り葉掘り尋ねることになります。面倒くさがられながらも話を聞いた学生のことは

本当に1年生から何をしてきたかを詳しく知ることになりました。進学希望者の結果は、ほぼ受験する自身の選択と頑張りにより決まると思うのですが、みんな無事に進路が決まりました。春に担任が代わると聞いて焦ったので、その分頑張ったという人も多く、逆境がうまく作用したのかもしれない。

最後に、皆さんは5年間の長く険しい道のりを乗り越えて卒業という一つの節目に到達しましたが、社会も学校も平成から令和へと大きな節目を迎えて大きく変化しています。特にインキュベーションワークの始まった年に入学された皆さんは、本校教職員の大きな期待を一身に背負い卒業することになります。今年の夏には東京オリンピックが開催されますが、呉高専の誕生した昭和39年も東京オリンピックが開催されており、呉高専と同じくオリンピックイヤーに技術者の卵として産声を上げる皆さんと深い因縁を感じます。そこで学んだ知識と経験を活かして皆さんが社会に出られて活躍されることを心からお祈りいたします。

# 5年間を振り返って -呉高専日誌より-

平成27年10月29日

## 1年生インキュベーションワーク「混ぜるを科学する インペラー製作コンテスト」 招聘講師による講演会を実施

機械工学分野 高田 一貴

10月29日(木)の1年生インキュベーションワークで、株式会社神鋼環境ソリューション プロセス機器事業部の菊池雅彦技術部長をお迎えし、かくはん混合(ミキシング)に関する技術講演を行っていただきました。インキュベーションワークでは、流体を混ぜるということについて、効率よく、均一に混ぜることを目標として、1年生にかくはん用のインペラーを試作してもらうことにしています。

講演会での学習を踏まえ、今後、インペラーの形状決定、試作、性能試験、評価を行っていきます。斬新でありながらシンプル、高性能インペラーの発見を期待しています。作ったインペラーには名前も付けます。この一連のワークを通じ、着想アイデアの可否を短時間で判定する手法を体験しつつ、時間との闘いである企業の開発業務の一端も垣間見てもらえたらと思います。

講演会では、かくはん機が幅広い分野で使われていること、多少難しい「かくはん流動」に関する技術論も披露いただきながら、どのようにすれば効率よく、均一に混ぜることができるか、それを実現するためのインペラーの形に関するヒントをいただきました。同時にヨウ素デンプン反応を利用した着脱色法による混合試験も行い、混合時間をいくつかのインペラーで競わせました。

用途や対象によって最適なインペラーがあることを実感しながらコンテストの対象である「水」に最も適したインペラーの形を各自が想像したのではないかと思います。



平成30年2月16日

## 平成29年度 機械工学科3年総合実習製作発表会

技術センター 大東 由喜夫



2月16日(金)、今日は、平成29年度総合実習製作発表会を行いました。この発表会は、機械工学科3年生が前期に自分たちで設計した図面を基にして、後期の工作実習の時間に、4班に分かれて半年間かけて製作した工作実習製品の発表です。

1班が卓上フライス盤・2班が卓上ボール盤・3班がピッチングマシン・4班がプライズゲーム機を各班10~11名が協力して製作しました。

ピッチングマシンとプライズゲーム機の製作は初めての挑戦で、機構全体の見直しや図面の手直しなどで苦勞しましたが、とても良いものが完成しました。ピッチングマシンの実演で、実際にボールが飛んだときは、歓声の渦に包み込まれました。

プライズゲーム機は学校見学会に展示しようと考えています。どの製作品も3年間の工作実習の総仕上げとしてふさわしい出来栄でした。

平成30年9月2日

## 「第33回ROBO-ONE」に参加しました

機械工学科4年 中村 太一

9月23日神奈川県立青少年センターにて開催された、MISUMI presents 第33回ROBO-ONEに参加してきました。インキュベーションワーク「二足歩行ロボットを作ろう」のメンバーで参加しました。

この大会は二足歩行ロボットによる格闘技大会で、相手を3回ノックダウンすれば勝利となります。

ロボットは実際の格闘技の動きを参考にし、腰回りのサーボモーターを中心に設計しました。全体を通してサーボモーターの可動範囲が大きくとれるようにしてあります。

我々のチームは初参加ということもあり惜しくも予選敗退となってしまいましたが、上位チームのロボットたちの構造やモーションプログラムなど二足歩行ロボットにまつわる「技術」をしっかり学ぶことができました。

これらの成果はこれから始める呉市「学生の夢実現プロジェクト」で採択されたロボットに引き継いで活動を続けてゆきます。

半年後に出てくる成果をご期待ください。



令和元年11月26日

## 機械工学科5年 トライボロジー授業にて「製造現場での品質技術について体験授業」

機械工学分野 西坂 強



11月26日に機械工学科5年生13名を選択授業のトライボロジーで、摩擦・摩耗・潤滑に関する調査研究をテーマに、香川県本社の包装資材メーカー:ユニードバック株式会社を訪問させていただきました。

会社紹介で永森社長から社会に出る高専生へ熱いメッセージを学生達が頂きました。

設計関連の4テーマの設定があり、各テーマに指導者を1名配置して頂き、密接な指導環境で現場の緊張感を体感しながら技術的な取り組みを学んだと思います。

学生達は12月5日の1・2限でテーマ別の発表を行う予定です。柔軟な発想と授業で学んだことを融合した改善策を提案し、討論して成長してくれることを期待しています。

最後に、今回の訪問調査に快く工場を提供して頂いた会社幹部の方々を中心に心よりお礼を申し上げます。

# 電気情報工学科



## ご卒業おめでとうございます ～電気情報工学科5年のみなさんへ～

電気情報工学科5年担任 平野 旭

電気情報工学科5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長かった5年間の高専生活を終えて、今、どのような気持ちでしょうか。今までとは違った場所での新生活に向けて、不安と期待でいっぱいでしょうか。特に社会人になって働く方は、学生時代とは全く違う立場となり、社会人としての責任にとまどうことも多くあると思いますが、体と心のバランスに気をつけて頑張ってください。

皆さんとの2年間を振り返ると、本当にあっという間だった気がします。4年生で実施していた研修旅行が無くなった為、「インターシップ」や「企業説明会への参加」など、ほとんど「就職活動」に関することでの関わりばかりだった気がします。

この度ご縁のあった企業では、みなさんを成長させてくれる同期や上司との良き出会いがあり、充実感をもって働ける職場であることを祈っています。

学校のイベントに限らず、通常のクラス運営においても、自分達で協力しながら何でもやっておられましたね。皆さん一人ひとりがリーダーとして活躍できる資質を持っており、ある時はリーダーとして皆を引っ張り、ある時は「サポーター」という立場に徹してリーダーを支えながら自身の役割をしっかりと

果たす、そんなリーダー資質と協調性を兼ね備えた皆さんには感心させられてばかりでした。遅刻に対する注意喚起をはじめ、色々な指摘も素直に聞き入れて下さいました。そんな「素直さ」が、皆さんをかたちづくっている根本な気がしています。

高専生活では先生方をはじめ、技術職員や事務の方々、そしていつも明るく朗らかな保護者の方に支えられた5年間でした。まだまだ未完成ゆえに、学生主事室から呼び出されることもあったり、時には外部の方々にも迷惑をかけたこともありましたが、皆さんにとっても、私にとっても大切な勉強の機会だったと思っています。今後、成長していく中で、一緒に社会へ還元していくことにしましょう。

最後になりましたが、担任として至らぬ点も多くあり、大変申しわけなく思っています。でも、普段忙しく、なかなか顔を見せない私に対しても、いつも変わらず元気に話しかけて来てくれて有難うございました。これから先、年齢を重ねていくごとに、想像がつかないさまざまな問題も起こってきますが、もしまえのガッツと明るさで乗り越え、それぞれの場所でご活躍下さい。何年後、成長された皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

# 5年間を振り返って -呉高専日誌より-

平成28年6月19日

## トーストマスターズの例会に参加しました（その2）

### インキュベーションワーク英語スピーチ・プレゼン指導

電気情報工学科2年 中林 龍

6月19日（日）に、インキュベーションワーク「英語スピーチ・プレゼン指導」に所属している僕と坂本雅弥君（電気情報工学科2年）の二人でトーストマスターズに参加しました。今回参加した、呉トーストマスターズクラブの例会は毎月第三日曜日に開催されており、部活や普段の勉強が忙しい僕でも負担なく参加することができます。またこの例会中の公用語は英語なので、オールイングリッシュを体験することができ、非常に新鮮でした。

例会では、スピーチを通して「スピーチを時間通りに終わらせる」ことや「Ahと言わないようにする」、「文法を間違えないようにする」といった技術を身に付けることができ、実用的なスピーチを練習することができました。前回はミニスピーチなどをするのができ、「英語を話すのは楽しい」という感想を持ちましたが、二回目の今回は、他の方が話していることをあまり理解することができなかつたので、「自分の英語の語彙力が足りない」ということを痛感しました。それで、最後の感想を言う場面で、「I couldn't understand everyone's speech. Because I don't know so many English words. So I will study English harder.」（私は皆さんのスピーチを理解することができませんでした。なぜなら、そんなにたくさんの英単語を知っていないからです。だからもっと英語の勉強を頑張ります。）と誓いました。今回の例会でまたひとつ英語に近づくことができたような気がします。



平成29年6月21日

## アメリカからの留学生が電気情報工学科3年とLHRで交流

人文社会系分野 上杉 裕子



6月21日（水）、アメリカ、アイオワ州、Pleasant Valley 高校からの留学生たちが、電気情報工学科3年（E3）のLHRで、学生たちと交流しました。

まずは留学生が自己紹介した後、人間版ビンゴゲーム大会をしました。

右写真はビンゴシートのマスにある英語のフレーズを使って質問し、Yesと答えてくれる相手が見つければ、その人の名前を聞き、記入し、さらに情報を得て記入すれば、そのマスが埋まるというゲームです。

縦、横、斜め各4マスを埋め、ビンゴになった学生は、景品としてアメリカのお菓子をゲット。学生たちはいろいろな人に質問し、ゲームはとても白熱したものになりました。

その後、Cha Cha Danceという、アメリカでは結婚式などでも踊られる人気のダンスをみんなで踊りました。ダンスの指示はすべて英語ですから、学生たちは聞き漏らさないよう、踊りながらも集中していました。

E3学生たちは留学生と楽しく交流ができ、すっかり仲良くなりました。

放課後Co-baで開かれた国際交流部主催のイベントにも、たくさんのE3学生が参加していました。

平成30年2月19日

## 電気情報工学科3年生が1dayインターンシップに参加

電気情報工学科

電気情報工学科3年生5名が、2月19日（月）の授業休講日を利用して、中国電機製造(株)の1dayインターンシップに参加してきました。

一般的にインターンシップでは、4年生や専攻科1年生が対象学年とされていますが、この度は、先方のご厚意で3年生も受け入れて下さることになりました。

3年生の参加希望者5名は「回路設計コース」のプログラムに参加し、CAD実習やシーケンス制御盤の製造実習等に取り組みました。普段の勉強が、どういった場面で活用されるか身をもって知る事ができた様子です。

今回の実習プログラムは、本校のOB社員の方が内容を検討・計画し、指導とサポートもOB社員の方が担当下さったそうです。懇談の時間には、OBと社会人の両方の立場から話をして下さり、学校での勉強の大切さや、学生のうちにやっておくべきことなど、大切なことを教えて頂く機会になったと学生達も喜んでいました。

働くことに関して、3年生に学びの機会を与えて下さった中国電機製造(株)の皆さまに感謝致します。

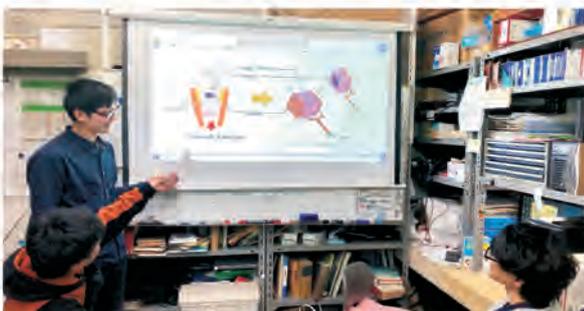
この度は有難うございました。



平成31年2月1日

## 電気情報工学科4年生、電子情報通信学会総合大会で研究成果発表決定！

先端電磁波システム研究室



昨年9月から研究室に配属された電気情報工学科4年坂本雅弥君の研究内容が、春の全国大会（於早稲田大学、3月19～22日）で発表されることになりました。

研究内容は、ピンセット形電極の共振現象を利用した肺癌部位推定に関するもので、同君は放課後や土・日曜日をフルに活用し、先輩達からのマンツーマンでの指導を受けながら、手術時に肺内部に存在する癌部位を電磁波により特定する技術を開発しました。

この研究は数年前から北九州市にある産業医科大学第二外科と共同で研究を進めてきたもので、実証研究に弾みをつける結果といえます。本科4年生がこのような国内最大規模かつハイレベルな学会で発表するのは、昨年の当研究室内田・空両君に次ぎ4人目となります。坂本君談「今から緊張していますが、全力を尽くして頑張ります。」今後の活動に注目したいと思います。

# 環境都市工学科



## ご卒業おめでとうございます

環境都市工学科5年担任 神田 佑亮

環境都市工学科5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生を卒業してすぐに入学してからの5年間、長いようで短かったのが実感ではないでしょうか。

4月から皆さんの多くが社会人として羽ばたき、また進学する方もこれまでとは異なった環境に身を置くこととなります。4月以降のことを考えてみると如何でしょうか？不安でしょうか？楽しみでしょうか？

恐らく、皆さんの多くが初めのうちは慣れずにストレスを感じる日々が続くのではないかと思います。仕事をなかなか覚えられず、苦勞するかもしれません。思うように仕事が捗らず、仕事の期日に追われる日々が続くのが辛いかもしれません。人間関係に戸惑う時もあるかもしれません。仕事を辞めたいと思う時もあるかもしれません。

ただ、できれば少なくとも3年間は、それぞれの4月からの進路を辞めることなく続けていってほしいと思います。就職先や進学先を選ぶにあたって、皆さんとしっかり議論しながら、決して教員側から押し付けたり割り当てたりするのではなく、皆さんが主体的に、かつ納得して選ぶように進めていきました。こうして自ら選んだ進路先ですが、これまで学校で過ごした5年間とは文化や考え方も全く異なるのは当然で、その「違い」にストレスを感じるのは誰

も感じる自然なことです。むしろ、自分自身の成長の機会と捉え、ポジティブに考えるようにして乗り切ってほしいと思います。

そこには新たな人々との出会いがあり、新たな考え方や技術との出会いがあり、その結果様々な「創造」を生み出す可能性を秘めています。あとはいろいろなことを自分だけで抱え込まず、同僚、上司や自分をサポートしてくれるメンバー、高専での同級生、ご家族に相談しながら、他の方の力も得ながら、でも謙虚に感謝して日々を過ごしてほしいと思います。もちろん、仕事のことなどわからないこと、相談したいことがあればいつでも連絡ください。たまには弱音を吐いても構いません。今後も皆さんを全力でサポートしていきます。

担任として皆さんと一緒に過ごした2年間、皆さんの「自主性」と「自律性」を重んじるという方針で皆さんと接してきました。この先、皆さんが手取り足取り細かく指導を受けたりすることはまずないでしょう。それだけにそれぞれの「自主性」と「自律性」が重要になってきます。古臭い言葉かもしれませんが、「真善美」を常に追求し、しなやかに生き、活躍してくれることを心の底から祈念しています。

# 5年間を振り返って -呉高专日誌より-

平成27年11月6日

## 環境都市工学科1年生 秋晴れの下での測量実習

環境都市工学科

1年生は4月に入学してから、早いもので約7ヶ月が経過しました。入学当初と変わらず、元気に毎日を過ごしているようです。

今回は環境都市工学科1年生の実験実習(測量)の様子を紹介します。実習内容は、平板測量の技術を使って、校内の地図を作成するというものです。右写真にあるように、三脚の上に木製の板(測板)を固定し、アリダードという測量機器を使用してトレーシングペーパーに地図を描いていきます。

この日(11月6日)は秋晴れで大変さわやかな測量日和でした。澄んだ青空を見上げると、2本のひこうき雲がクロスしていました。澄んだ青空、クロスしたひこうき雲、紅葉、そして学生達の測量風景(?)が、とてもマッチしていました。

これから、少しずつ寒くなっていきますが、体調に気を付けて元気に頑張ってください！



平成29年12月16日

## 海外研修旅行3日目

環境都市工学科3年 沖田 航周



12月15日、研修旅行3日目に初めて台湾の青空が見え、とても過ごしやすい1日でした。まず初めに行ったのは故宮博物院です。世界三大博物館のひとつで、696,000個以上の古代の中国の人工品および美術品が所蔵されています。中でも有名な「翠玉白菜」と「肉形石」を見ました。手で作ったことを疑うほど精密に作られており、古代中国の技術の高さが分かりました。

次に、忠烈祠へ憲兵の交代式を見に行きました。ピクリとも動かない憲兵たちはまるでフィギュアのようで、交代式の時は動きが俊敏でとてもカッコ良かったです。また、初めて銃を間近で見ることができました。昼食後に向かったのは、中正紀念堂です。蒋介石に対する哀悼の意を込めて建てられ、シンボルである70mの蒋介石の席座像は、日本では見ることができないスケールの大きさで驚きました。

最後に向かったのは、個人的に最も楽しみにしていた九份です。「千と千尋の神隠し」のモデルになったともいわれているこの場所は観光客から大人気で、狭い路地に人が溢れかえっていました。古い木造の建物に、夜になると赤いちょうちんが灯りはじめとても幻想的でした。あまりの観光地の多さに、みんなやや疲れ気味でしたが楽しい1日を過ごすことができました。

平成30年6月18日

## 合材工場へ見学に行ってきました

環境都市工学科4年 雪丸 秀真

環境都市工学科4年は6月18日(月)に五日市にある前田道路の工場へ現場見学に行きました。

現場見学では、3つのグループに分かれてローテーションの形で説明してもらいました。

まず、僕たちのグループは前田道路の企業説明を受けました。前田道路では東京湾や神宮球場の施工を行っており、非常に大きな企業だと感じました。

次に実際に工場の中を見学しました。アスファルト合材を製造する時には、熱が必要なので、工場内は暑かったです。他にも実際にブルドーザーに乗せていただきました。

現在では無人でブルドーザー等の機械を動かせることが可能だということも学びました。



平成31年2月6日

## 国土交通省広島国道事務所から出前講座～まもなく開通の国道185号休山トンネルの工事について学ぶ～

環境都市工学科4年担任 神田 佑亮



呉高专の近くでは、国道185号「休山トンネル」の工事が、今年3月10日の供用に向け進められています。

このトンネル工事について、国土交通省広島国道事務所より「出前講座」がありました。講師として入省2年目の若手、工務課 田中技官からトンネル工事の概要、発破の方法などの技術的なお話、また工事を進める上での配慮事項、この工事の難しさに対応方法について詳しくお話をいただきました。

その後、呉高专のOBでもある八山建設監督官も加わってくださり、呉地区の戦前からの道路整備の経緯や、社会資本整備に仕事で携わることの面白さなど、幅広いお話を質疑応答を交えて行いました。

普段見えない様子を見たり、また授業で習うことが現場にどう繋がるか感じることができたと思います。

最後に講師で来ていただきました皆様、大変ありがとうございました。

# 建築学科



## また、お会いしましょう

建築学科5年担任 岩城 考信

建築学科5年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。4年次から2年間、皆さんの担任をして、就職や進学をサポートしてきました。皆さんの担任がようやく終わり、私は安堵と寂しさが入り混じった、アンビバレントな気持ちを抱えています。

就職を希望する学生には、複数の企業のインターンに参加し、自らの体験を通して、それらの中から最も興味を持った1社を選択するように勧めてきました。多くの学生が、積極的にインターンシップに参加し、自らの意思で企業を選択し、努力のもと内定を手に入れてくれました。

進学を希望する学生にも、多くの大学を実見した上で、第1希望を決めるように指導してきました。多くの学生が、進学先となる大学や専攻科を様々な角度から分析し、自らの意志と努力によって試験を乗り切ってくれました。

これらの努力の経験は、人生を自らの手で切り開いて行く上で、大きな財産となることは間違いありません。今後、就職先や進学先での、さらなる活躍を大いに期待しています。

さて、皆さんは、多様な企業や大学、専攻科に進むことになりました。45名と決して多くはない人数ですから、卒業後もお互いに連絡を取り合い交流を続け、様々な分野でお互いに助け合う関係を今後も維持し続けて欲しいと思います。

辛いこと、悔しいこと、悲しいこともあると思います。しかし、それらに屈することなく、一步一步、愚直に進んで行って欲しいです。

そして、将来的には呉高専建築学科の学生たちの就職や進学をサポートをして欲しいと思います。

皆さんの就職や進学の成功の裏には、本校で企業説明会を開いてくれたり、面接や筆記試験のアドバイスをしてくれたりしたOBやOGの献身的なサポートがあったことを、決して忘れないでください。

いつか皆さんがリクレーターとして来校し、在校生たちのよりよい将来の手助けをして下さい。

ご卒業、本当におめでとうございます。そして、学校や学会、また街角で元気な皆さんにお会いできることを心から楽しみにしています。

# 5年間を振り返って -呉高专日誌より-

平成29年6月22日

## 2年学科交流企画

建築学科2年 中村 理子

6月22日水曜日、2年生学科交流企画でクラスマッチを行いました。競技は、バレーボール、バスケットボール、ドッジボールの3種目です。今回はちょうどアリゾナの高校から本校に滞在していた留学生たちも加わり、学科交流を飛び越えた国際交流企画となりました。学科対抗ということもあって、始まりから終わりまで、どの試合も白熱した戦いで凄まじい攻防が繰り広げられました。また、応援にも気合が入っており、大きな歓声や拍手が体育館中に響き渡りました。

結果はバレーボールは環境都市工学科、バスケットボールは建築学科、ドッジボールは機械工学科が優勝。そして、見事に機械工学科が総合優勝を果たし、2年生の担任の先生方から優勝賞品が渡されました。最後には胴上げを行ったクラスがあるなど、よりクラスの団結力が高まったと思います。さらに他学科とはスポーツを通して交流を深めることができました。

私たちの学年では初のクラスマッチでしたが、終わった後に、「もう一度戦いたい」「またクラスで団結したい」「他の競技でもやりたい」などといった積極的な意見が多く寄せられたので、またこの様な学科交流ができればいいな、と思っています。勝ったクラスも負けたクラスも、よい思い出となった学科交流企画でした。



平成29年12月16日

## 海外研修旅行4日目

建築学科3年 新本 龍太郎



4日目の午前中は、龍山寺へ行きました。

龍山寺では、複雑な壁面の装飾や組み物にまず圧倒されました。

また、この龍山寺には2つ一組になった三日月形の木片を使ったおみくじがありました。現地のガイドの方から引き方を教わり、チャレンジしましたが、良い目が出ませんでした。ガイドの方によれば、このような時は神様に心の中でお願いして再チャレンジすることで、良い目がでることもあるそうです。

次に訪れたのは総統府です。内部公開は予約と審査が必要なので、平日しか公開していないため、外観を眺めただけで終わったのが残念です。

昼食として小籠包や餃子などを食べた後、台湾桃園国際空港へ移動して出国審査を経て約2時間かけて日本に帰ってきました。

今回の研修旅行では、困ったら積極的に聞くほうが良いことと、互いに言葉が通じなくても考えを伝えようとする意思があれば、どうにかなることを学びました。

4日間という短い時間でしたがとても充実していて楽しかったです。

平成30年6月10日

## インキュベーションワーク「海自プロジェクト」地下壕調査を実施

建築学科4年 前田 丞

私たちインキュベーションワーク「海自プロジェクト」のメンバーは、6月10日(日)に海上自衛隊呉地方総監部を訪れ、呉基地内に残る旧海軍が建設した地下壕の調査を行いました。

今回の調査では、宮原中学校生徒会のみなさんと合同で7月に開催予定の「呉サマーフェスタ」に向けて地下壕内部の写真や動画の撮影を行いました。

地下壕内部は非常に暗く、コウモリが飛んでいたり、水が溜まっている場所があったりと、まるで洞窟の中にいるような感覚でした。



令和元年11月1日

## 学生課前の机を作成しました

建築学科5年 平田 雄基



インキュベーションワークの「イノベーションプロジェクト」は、先週から今週にかけて、学生課前の机を作成しました。

机の設計や材料の発注、組み立てからニス塗りといった作業を、一貫して行いました。この机は、より使いやすくなるようにと、今まで使用していたものから高さを変更したり、多くのプリント類を収納するためのスペースを確保したりと、工夫を凝らして制作したものです。

私達のインキュベーションワークでは、建築学科以外の生徒や、一年生も多く、初めて触る機械や、初めて行う作業も多かったのですが、教え合いながら最後まで作り終えることができました。

最後はみんなの名前を書いたネームプレートを机の裏に貼り完成しました。

今回制作した学生課前の机をより多くの学生に使っていただけたら幸いです。

# 専攻科



## 修了おめでとうございます

専攻科長補 藤井 敏則

令和元年度修了生のみなさん。ご修了おめでとうございます。7年間もの長い間、呉高専での学生生活を終えて、素晴らしい門出の日を迎えることができ、心からお祝い申し上げます。また、保護者の皆様へ心からお喜び申し上げます。

さて、振り返ってみると、専攻科の改組によってプロジェクトデザイン工学専攻ができて、はじめて40人の定員を超えて入学した学年です。やはり印象に残っているのはインターンシップ先の選定です。約3ヶ月のインターンシップを引き受けてくれるところは多くなく、新年度に入って急ぎ変更をした学生もいました。さらに、昨年の西日本豪雨災害によって、自宅に戻れなくなり一時避難所生活をしていた学生もいて、全員無事が確認されたときには安堵いたしました。

次に印象深かったのは、プロジェクトデザイン工学演習の授業です。42名を9班に分けて行ったので、週報を聞くので手一杯となっ

て、良いアドバイスや技術的な支援をできなかったことが、私としては悔やまれるところです。しかし、さすが、専攻科生ともなると、自律して活動ができるようになっており、コンテストへの入賞や成果物のできも良く、特に報告会での発表は見事なものでした。

修了後は、進学や就職の違いこそあれ、新しい環境に進むこととなります。新しい出会いやつらいこともあると思いますが、呉高専で頑張れたことは、必ず役に立つと思います。これからの時代は、AIやRPAなどホワイトカラー受難の時代となって行くことが予想されています。人生100年と言われますが、「光陰矢のごとし」あっという間に時間は過ぎていきます。5年先、10年先を見据えた目標と日頃からの良い習慣を身につけて、社会で活躍し充実した人生を送っていきましょう。最後にもう一度、ご修了おめでとうございます。呉市にお寄りの際には高専にも遊びに来て下さい。

## 2年間を振り返って -呉高専日誌より-

平成30年10月16日

### 電気系専攻科生第6回国際スマートシティシンポジウムで成果発表

専攻科1年の内田悠斗・空翔太両君が10月16～17日を会期とし、ブラジャヤバームガーデンホテルで開催された国際学会で日ごろの研究成果を発表しました。

空君談

「マレーシアの母国語は英語ではないが、参加していた講演者全員が英語を巧みに扱っていたことに衝撃を受けたとともに、今後の学生生活に対するモチベーションが向上した。」

内田君談

「今回の国際学会を通して、マレーシアの学生との英語能力の差を痛烈に感じ、自己啓発するいい機会になった。今後の国際会議に向けて研究だけでなく英語も一層努力します。」

両学生は今後アジア太平洋マイクロ波国際会議(11月京都)、IEEE無線システム国際会議(1月米国)と続けて講演します。乞うご期待！

先端電磁波システム研究室



平成30年10月19日

### 専攻科 長期インターンシップ報告会

専攻科長補 藤井 敏則

10月19日(金)に専攻科の長期インターンシップ報告会が開催されました。今年度は「平成30年7月豪雨」の影響を受け、10月開催となりました。

専攻科1年生(43名)が、機械工学分野、電気情報工学分野が視聴覚教室、環境都市工学分野、建築学分野が大講義室の2会場で、インターンシップの成果を報告しました。

呉高専の長期インターンシップは、約2ヶ月半に渡って民間企業や研究機関で研修することにより、社会人として必要な基礎能力を修得し、今後の学生生活に活かすことを目的として実施されています。

発表会では、多数の聴講者による活発な質問や議論が展開されました。

終わりに、本校学生のインターンシップを受け入れていただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



令和元年9月27日

### 専攻科2年機械系の福田君が日本経営工学会Best Presentation Award受賞

機械工学分野 岩本 英久

専攻科2年生の福田友哉君が2019年度日本経営工学会春季大会にて、Best Presentation Awardを受賞しました。2019年3月7日(木)～8日(金)に福岡工業大学で開催された学会です。

発表テーマは「外科用彎曲針による運針引抜動作における医原性損傷に関する研究」で、外科手術で使用される彎曲針を用いた運針引抜動作において、医原性損傷を軽減するために、医原性損傷量を算出する理論式を構築し、医原性損傷量を削減する運針引抜条件を推定したという内容です。

当日の参加者から「こんな成果があがっているとは知らなかった」と驚かされていました。福田君の地道な研究活動と素晴らしいプレゼンによって受賞が決まったようです。

他の受賞者は慶応大学大学院や静岡理工科大学大学院の学生でした。

大学院生の研究活動に匹敵する研究内容と活動能力および発表能力があることが認められたと思います。これからも頑張ってください。



令和元年12月13日

### 専攻科生(環境都市系)が優秀講演者として表彰されました！

環境都市工学分野 重松 尚久

2019年9月3日～5日に、香川大学で令和元年度土木学会全国大会第74回年次学術講演会が開催されました。

私の研究室から、専攻科2年の河相拓真君が「モルタル供試体におけるTBMセンターカッタービットの掘削性能に関する基礎的研究」というタイトルで研究発表を行いました。

土木学会全国大会では「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」という制度があり、優れた講演を行った若手研究者、技術者が表彰されます。

今回は約3,600件の発表の中で、231名の発表者が優秀講演者として選ばれましたが、高専生で選ばれたのはわずか9名のみで、河相君もそのうちの一人です。

河相君は今年5月に行われた土木学会中国支部研究発表会でも、優秀発表者として表彰されています。

今回の受賞を励みに、これからも研究を頑張ってください。



# 進路速報

## 専攻科

専攻科の修了生は41名で、進路状況は就職27名(民間企業23名、公務員4名)、大学院進学14名です。  
今年度の特徴として大学院進学を希望する学生が増加し、専攻科生の約34%となっています。1月末現在で、京都大学、東北大学、名古屋大学、広島大学、電気通信大学、長岡技術科学大学、兵庫県立大学、大阪市立大学の大学院へ進学予定です。就職では、マツダ、NITデータMHIシステムズ、ミットヨ、松本義肢製作所など、専攻科1年生の長期インターンシップ先に就職する学生が増えてきました。企業や業務内容を理解した上での就職であり、今後も長期インターンシップと就職活動の連携が進むことを期待しています。

## 機械工学科

機械工学科の進路状況は、学生数37名に対して就職15名(41%)、進学21名(57%)となり半数以上が進学することになりました。進学者の割合は昨年に引き続き増加傾向です。就職先は自動車4名(マツダ、ホンダ、スバル)、航空機2名(ANA)、電気2名(パナソニック、ソニーエンジニアリング)、エネルギー2名(中国電力、GSユアサ)、鉄道1名(JR東海)、農機1名(井関農機)、システム構築1名(アイ・エル・シー)でした。企業の採用意欲は高く、学生にとっては恵まれた環境にありました。進学先については本校専攻科が9名、国公立大12名でした。今年は国公立大にチャレンジした学生が多い年でもありました。

## 電気情報工学科

電気情報工学科の進路状況は、学生数45名に対して就職29名(64%)、進学15名(33%)で、今年度は進学が少し多い学年になりました。進学先は東京大学、北海道大学、東北大学、筑波大学、九州工業大学とヘンダーソン州立大がそれぞれ1名、本校専攻科が9名でした。主な就職先はエネルギー3名(電源開発、関西電力)とエネルギーインフラ3名(日鉄P&E)、他は造船、自動車部品、精密測定器、精密加工機械製造など機械系の会社が多いように感じます。今年も企業の採用意欲は高く、その要望に応えきれない状況です。

## 環境都市工学科

本学科では、本科卒業予定者41名のうち、就職が28名(68%)、進学が13名(32%)でした。  
就職先は、国土交通省、広島県、広島市、坂町などの公務員に9名、電力やJRやガスなどの公益企業11名、大成建設や竹中土木などの建設系企業5名、中電技術コンサルタント1名、西原環境1名で、ほぼ例年通りの傾向でした。  
進学先は、東京工業大学1名、九州大学1名、熊本大学2名、長岡技術科学大学1名、本校専攻科8名でした。公務員の内定時期は遅いものは11月でしたが、今年度は売り手市場がより一層顕著になり、民間志望者は夏過ぎには全員内定しました。

## 建築学科

建築学科の進路状況は、学生数45名に対して就職が34人(76%)、進学が11人(24%)で、例年と比べ就職が多くなりました。  
就職先は清水建設や竹中工務店などのゼネコン系、JR西日本や中国電力などのインフラ系、新菱冷熱工業などの設備系、あい設計などの設計系などに就職しました。建築業界の求人意欲は男女問わず高く、今年もその要望に応じきれない状況でした。進学先は、千葉大学、横浜国立大学、広島大学、九州大学などの国立大学と呉高専専攻科でした。新しい進路先での活躍を期待しています。

■2019年度専攻科修了生進学・就職予定先一覧

<2020年1月現在>

学校名	企業名
大阪市立大学大学院	名古屋市役所
京都大学大学院	広島県庁
電気通信大学大学院	広島市役所
東北大学大学院	NECネットエスアイ株式会社
長岡技術科学大学大学院	NOK株式会社
名古屋大学大学院	旭化成株式会社
兵庫県立大学大学院	アズビル株式会社
広島大学大学院	いであ株式会社
	株式会社MTG
	株式会社NTTデータMHIシステムズ
	株式会社アルモ設計
	株式会社ジェイ・エム・エス
	株式会社松本義肢製作所
	株式会社ミットヨ
	川田建設株式会社
	九州旅客鉄道株式会社
	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
	パナソニック株式会社アプライアンス社
	パナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社
	パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
	マツダ株式会社
	三菱電機エンジニアリング株式会社

(50音順)

■2019年度本科卒業生進学予定先一覧

<2020年1月現在>

学校名	学科名			
	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
呉工業高等専門学校専攻科	○	○	○	○
九州大学	○		○	○
九州工業大学		○		
熊本大学			○	○
滋賀県立大学				○
信州大学	○			
千葉大学	○			○
筑波大学	○	○		
東京大学		○		
東京工業大学			○	
東北大学		○		
豊橋技術科学大学	○			○
長岡技術科学大学			○	
広島大学				○
北海道大学		○		
山口大学	○			
横浜国立大学				○
ヘンダーソン州立大学		○		

(50音順)

企業名	学科名	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
国土交通省中国地方整備局				○	
坂町役場				○	
独立行政法人国立印刷局					○
広島県庁				○	
広島市役所				○	
ANAエンジンテクニクス株式会社	○				
ANAベースメンテナンステクニクス株式会社	○				
JFEシビル株式会社					○
JFEスチール株式会社西日本製鉄所		○			
MHIプラントエンジニアリング&コンストラクション株式会社					○
NECフィールディング株式会社		○			
NSウエスト株式会社		○			
NTTコムエンジニアリング株式会社		○			
SEMITEC株式会社	○				
アズビル株式会社					○
アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社		○			
エムイーシーテクノ株式会社		○			
大阪ガス株式会社				○	○
鹿島クレス株式会社					○
株式会社GSユアサ	○				
株式会社IHIインフラ建設				○	
株式会社JMUシステムズ		○			
株式会社NHKテクノロジーズ		○			
株式会社NTTデータ中国		○			
株式会社アイ・エル・シー	○				
株式会社あい設計					○
株式会社アルモ設計					○
株式会社井関農機	○				
株式会社大阪防水建設社				○	
株式会社大林組					○
株式会社スバル	○				
株式会社竹中工務店					○
株式会社竹中土木				○	
株式会社ディスコ		○			
株式会社西建設計					○
株式会社西原環境				○	
株式会社ビーネックスソリューションズ		○			
株式会社ピーエス三菱				○	
株式会社フジタ					○
株式会社ミットヨ		○			

企業名	学科名	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
株式会社三越伊勢丹プロパティ・デザイン					○
関西電力株式会社			○	○	
神田通信機株式会社			○		
キヤノン株式会社			○		
三晃金属工業株式会社					○
ジェイ・アール・シー特機株式会社			○		
清水建設株式会社					○
新菱冷熱工業株式会社					○
創建ホーム株式会社					○
ソニーエンジニアリング株式会社	○				
ダイキンエアテクノ株式会社					○
大成建設株式会社				○	
タカラスタンダード株式会社					○
中国電力株式会社		○		○	○
中電技術コンサルタント株式会社			○	○	
中部電力株式会社				○	
電源開発株式会社			○		
東海旅客鉄道株式会社		○	○	○	
東京ガス株式会社				○	
東京電力ホールディングス株式会社				○	
戸田建設株式会社					○
西日本高速道路株式会社					○
西日本高速道路ファシリティーズ株式会社		○			
西日本旅客鉄道株式会社				○	○
日鋼設計株式会社			○		
日鉄エンジニアリング株式会社					○
日鉄テックスエンジ株式会社					○
日鉄ハイライン&エンジニアリング株式会社			○		
パーソルR&D株式会社			○		
パナソニック株式会社アプライアンス社	○	○			
広島ガス株式会社				○	
富士機械工業株式会社			○		
富士フィルムメディカル株式会社			○		
本田技研工業株式会社		○			
マツダ株式会社		○			
三井不動産レジデンシャルサービス株式会社					○
三井住友建設株式会社					○
三菱地所コミュニティ株式会社					○
村田機械株式会社	○				

(50音順)

# 「2019年度の呉高専日誌から」

## 教育・研究

### IEEE国際会議に三論文採択！～次々と創出される研究成果を世界へ発信～

19/0110

先端電磁波システム研究室

専攻科(電気情報系)2年内田悠斗・空翔太両君、本科電気情報工学科5年坂本雅弥君の研究が、来年1月テキサス州サンアントニオで開催される米国電気電子学会(IEEE)マイクロ波工学協会主催国際会議、RWW2020 に採択された」との一報が届きました。

内田君は電子地図を利用した土砂災害予知アルゴリズムを、空君は発振型高周波電極で腫瘍細胞原発巣特定基礎実験を、坂本君は共振型ピンセットで肺癌部位特定を、世界で初めて成功裏に達成した報告になります。

当該研究室からは過去5年間、IEEEが主催・共催するハイレベルな国際会議に38件の論文が投稿され、その内34件が採択されています。

研究内容の独創性もさることながら、これもひとえに研究室の門を叩く学生たちの向上心と不断の努力によるところが大きく、この伝統は、後期から研究室に配属された4年生達にも引き継がれつつあります。

これからも研究室の進展に期待したいと思います。



### 4thSTI-GIGAKU BEST POSTER AWARDを受賞

19/0111

機械工学分野 野村 高広



11月8日に長岡技科大で開催された4thSTI-GIGAKU2019に、専攻科2年の杉村翔大君と専攻科1年の藤本健明君のペアにて、『渦(うず)』により回転する縦渦風車の研究成果について、ポスター発表を行いました。

来場者に対して少しでも関心をもって頂けるよう、ファンによる風で実験用の縦渦風車をさりげなく回転させる動態展示を行うなどの工夫をしました。その効果もあり、ポスター前では多くの来場者に立ち止って頂き、英語での質問に悪戦苦闘しつつも、研究成果を英語で伝えることができたようです。なお、学部生や院生を含む合計203件のポスター発表の中から、27件のBEST POSTER AWARDが選出され、今回のポスター発表がその1つに選ばれました。

当研究室より、昨年に続いて2年連続の受賞となり研究室全員が喜んでいるところです。

今後も学生達の粘り強い努力の積み重ねに期待したいと思います。

### 神田研究室 国土交通省中国運輸局長より表彰状を授与

19/0210

専攻科プロジェクトデザイン工学専攻2年 赤木 大介

神田研究室では、一昨年度より安佐動物公園への公共交通利用促進及び周辺地域の活性化を目的とした「Happy Bus停プロジェクト」を産学官共同で実施しており、その功績が認められ、11月27日に「環境保全・交通バリアフリー中国運輸局長表彰」を受賞しました。

この賞は、運輸部門における環境保全の取り組みや高齢者・障害者等の円滑な移動等を確保する交通バリアフリーの取り組みに尽力し、その功績が顕著であると認められる事業者等に対して表彰が行われています。

授賞式当日は、国土交通省中国運輸局長より表彰状の授与及び各受賞事業者のこれまでの活動内容についての説明がありました。

今後も我々神田研究室の学生では、地域の課題に交通面から着目して、地域活性化に繋がる施策を提案・実行していこうと考えております。



### 高専祭実行委員が支援金寄付のため呉市長を訪問

19/0211

～高専祭売上金の一部を豪雨災害支援金として寄付～

高専祭実行委員会副委員長 二矢川 遼 (環境都市工学科4年)



1月20日(月)に、高専祭実行委員から委員長 近藤 聖斗(建築学科4年)と副委員長 二矢川が、呉市役所の新原 芳明 市長を訪問しました。

高専祭の模擬店収益金からその半分となる493,266円を、豪雨災害支援金として直接お渡しするためです。

昨年度7月に発生した豪雨災害では、呉市も甚大な被害を受け、未だ復興の途上にあります。その中で昨年度は、高専祭実行委員会幹部の発案により、呉市復興の手助けのため初めて呉市に寄付させて頂きました。そして今年度も、呉市復興へのお手伝いとして豪雨災害支援金を寄付させて頂くことに、現在の実行委員会幹部の中で決まりました。

呉市長との懇談では、高専祭に来て頂いた際のお話と感想を聞かせて頂き、高専祭での企画や催しについての御意見や楽しかったことなどをお話させて頂きました。

長い期間準備したので、市長に来て頂けたこと、楽しんで頂けたことを嬉しく思いました。

# 「2019年度の呉高专日誌から」

## インキュベーションワーク

### 呉ご当地キャラ祭りに出展しました

5月12日

機械工学科5年 平坂 典久

5月12日に大和波止場にて開催の呉ご当地キャラ祭りに、インキュベーションワーク「ロボットの魅力を伝えよう」としてロボット呉氏を出展しました。呉氏はもちろんのこと、くまモン(熊本)やバリさん(今治)など、たくさん出演していました。

私たちは、呉市のブースにおいて二足歩行ロボットの呉氏の展示や動作デモンストレーションを行いました。強い日差しの中でしたが、子供から大人まで、たくさんの方に訪れていただきました。

クオリティが高い、動きがかわいいなど、高い評判で皆さん楽しんでいる様子でした。また、呉氏の単独ステージに呼んでいただき、ステージで本物の呉氏と共演しました。

今回のイベントで、握手がしたい、ダンスを踊ってほしいなどたくさんの方の意見をもらったので、次のイベントでは進化したロボット呉氏を見せられるよう、改良していきたいと思います。機会を与えていただいた呉市役所関係者の皆さんに感謝いたします。



### 呉南特別支援学校の花壇—制作のその後

9月13日

建築学分野 間瀬美郎・下倉玲子・安 箱敏



お向かいさんである呉南特別支援学校に、一昨年度のインキュベーション授業で私たちは花壇を制作しました。

花壇を作るのは初めてのことで専門家に助言を頂きながら学生30人と手作りで作り上げたものです。

そして、9月13日に呉南特別支援学校を訪れてみると、きれいに花々が植えてありました。毎朝高等部の生徒さんたちがお手入れしているそうです。

中庭全体も清掃が行き届いていて花壇が映えてました。

モノづくり携わられた者にとってとっても嬉しい状況でした。

### 作成した棚を搬入しました！@川尻安浦地域包括支援センター

10月10日

建築学科4年 奥田 崇嗣

10月10日(木)に呉市安浦町の地域包括支援センターを訪れ、以前から要望を頂いていた棚を渡しました。

初期の案は4枚の板で作る単純な四角い箱でしたが、それでは構造的に弱い上にデザインも良いとは言えないものでした。そこからセンターの方との話し合いで棚に関する改善点を頂いたり、形や材料の異なる試作品をいくつか作り壊れにくい棚を考えていきました。

完成した棚は二段に分かれていて下の段は下足を入れるため、上の段は荷物を入れるためのものとなっています。また、横にして使うこともでき幅広いレイアウトを可能にしました。

棚を渡すとすぐに配置してくださり、塗装なしの木そのものの色がセンターの雰囲気合っているととても喜んでいただけました。

棚製作中はいろいろと悩むこともありましたが、喜ぶ姿を見られたときは、やり切れてよかったなどやりがいを感じることができました。



### 豪雨災害復興支援コンサートを開催しました

11月30日

機械工学科3年 仲 祐奈



11月30日(土)、サンスターホール(坂町立町民交流センター)にて、西日本豪雨災害復興支援コンサートイベント「カナデタイ」を開催しました。

2018年の災害発生直後から構想を練り、2部構成のアンサンブルコンサート、子供と一緒に楽しむ即興演奏、防災クイズ・カルタ大会、ろ過装置製作体験、3Dマップによる避難経路紹介、ハンドドリップコーヒーの提供を行いました。楽器やカルタを楽しむ子供たちの姿に、こちらも嬉しくなりました。

本イベントの開催にあたり多大なるご支援をいただきました。呉地域オープンカレッジネットワーク学生の夢実現プロジェクト、坂町、坂町教育委員会、サンスターホール、コーヒー豆を無償でご提供頂きました岡山県倉敷市のつれづれ珈琲様、天領倉敷珈琲様、および関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

# 「2019年度の呉高専日誌から」

## クラブ活動

### テニス部 呉地区大会 団体戦優勝！

4月20日

テニス部 寺本 暁（建築学科2年）

4月20日土曜日、呉市総合スポーツセンターでテニス部 広島県高等学校 総合体育大会テニス 呉地区予選（団体戦）が実施され、本校からは8名の部員が出場しました。

大会は全5校での総当たり戦で、本校は4戦4勝という結果で見事優勝することができました。

前回の個人戦の結果といい部内全体のレベルアップを感じられる内容で春合宿や日頃の練習の成果をしっかりと出すことができたと思います。

5月下旬の県大会までにさらなる練習を積み、よい結果を残すことができるように頑張りたいです。

テニス部では新一年生の入部も歓迎しています。

最後に応援していただいた保護者の方々に御礼申し上げます。



### 水泳同好会 インターハイ出場決定！第67回中国高校選手権水泳競技大会

7月21日

水泳同好会顧問 中迫 正一・堀口 至・上芝 令子



7月19日（金）～21日（日）、山口きらら博記念公園水泳プールで「第67回中国高校選手権水泳競技大会」が開催されました。本校から呉地区予選および広島県選手権大会を突破した2名が出場しました。

小田悠人君（環境都市工学科3年）は200mバタフライで3位に入賞し、全国高校総合体育大会（インターハイ）の出場権を獲得しました。また、100mバタフライは8位に入賞しました。

武藤実咲さん（機械工学科1年）は1年生で中国高校選手権に出場し、惜しくも決勝進出を逃しましたが、来年度以降に向けて良い経験になったと思います。

なお、全国高校総体は、8月17日（土）～20日（火）に熊本市総合屋内プール（アクアドームくまもと）で開催予定です。

引き続き応援をよろしく願っています。

### 第28回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会 女子団体優勝！

8月27日

アーチェリー部顧問 松野 一成

8月26日、27日に令和元年度西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会が佐伯国際アーチェリーランドで開催されました。

今年度、本校からは12名の選手が大会に参加し、10数年ぶりに女子団体の部にもエントリーできました。

競技は27日でしたが、天候はあいにくの雨、コンディションは良くありませんでしたが、本校の選手は奮闘いたしました。

無事に協議は終了し、女子団体の部で優勝することができました！

加えて、女子では個人の部でも1位、2位の好成績となりました。

3連覇を目指して大会に臨んだ男子の部では、残念ながら連覇を果たすことができませんでしたが、選手全員が力を発揮いたしました。

OBも大会会場に足を運んでくれ、非常に思い出に残る大会になりました。



### 高専ロボコン2019全国大会 特別賞「マブチモーター賞」受賞

11月24日

ロボット制作部 大里 翼（電気情報工学科4年）



ロボット制作部は11月24日に東京・両国国技館で開催の高専ロボコン2019全国大会に参加しました。

今年のテーマは「らん♪ RUN Laundry(らん・ラン・ランドリー)」。ロボットが様々な洗濯物を干す競技です。

呉高専からは中国地区大会で優勝した呉B「蝸牛(シュネイカー)」が出場しました。

1回戦は茨城高専「洗風日和」を15対2で下し、2回戦に駒を進めます。

2回戦では都立高専「クマノミランドリー」と対戦。5対11で惜しくも敗れてしまいました。結果は2回戦敗退となってしまいましたが、走りながらタオルをシリンダーで飛ばすアイデアが高く評価され、特別賞の「マブチモーター賞」を受賞しました！

今年の経験と悔しさをバネにして、来年も活動していきたいと思います。

当日応援くださった皆様、ご声援ありがとうございました。

# 「2019年度の呉高専日誌から」

## グローバル

### 南イリノイ大学と平和交流を行いました

電気情報工学科2年 大谷 元統

5月19日(日)、東広島市福富町にある「星降るテラス」にて、南イリノイ大学、近畿大学工学部、広島大学、呉高専の学生で平和交流を行いました。

交流会では、源流太鼓と三味線の鑑賞、被爆樹木の植樹、被爆樹木の紙芝居、被爆体験聴講会、平和についてディスカッションを行いました。

源流太鼓と三味線の鑑賞では、迫力のある演奏と演奏者の身体や指の動き、掛け声に注目し、すべての学生が興味を持って鑑賞していました。

被爆樹木の植樹、被爆樹木の紙芝居、被爆体験聴講会を通して一人一人が平和についての意見を自分の中で確認し、その後のディスカッションでは、いくつかのグループに分かれて平和についての考えを話し合い、グループの意見をまとめました。

グループ内にはいろんな国の学生がいたため、平和についての認識は一人一人ずれがありました。「戦争をしてはいけない」という認識はどの国でも共通していることを確認できました。



### 留学生交流パーティーを開催しました！

国際交流部 外村 天音(建築学科3年)



6月28日(金)放課後、創造演習室で呉高専への新入留学生を歓迎するため、留学生交流パーティーを開催しました。

呉東ロータリークラブ、呉市国際交流協会からもご来場いただき、今年も大盛況となりました。学生も誘い合って集まり、楽しい交流の機会になりました。

新入留学生のトゥーギー君とイヴリ君は自分の祖国について紹介してくれました。祖国紹介では、見たことのない文字や文化にざわめいたり、盛り上がりを感じました。

また、日本文化紹介として、日本のおもちゃ、箸で豆つかみ、輪投げ、知育菓子などの紹介をしました。留学生や学生はもちろん、大人も童心にかえて楽しむことができたのではないかと思います。

パーティーの後、楽しかったという言葉を多くいただきました。今後の国際交流部のイベントにご期待ください。

### UNITAR広島青年大使に参加してきました

環境都市工学科3年 小田 悠人

7月30日から9月23日に行われた2019年度UNITAR(国連訓練調査研究所)広島青少年大使に参加しました。

このプログラムでは国際フォーラムや持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにしたワークショップに参加し、県内の高校生と国際問題について意見交流や、国際舞台上で活躍するためのスキルなど様々なことを学びました。

このプログラムに参加したことで、日々のコミュニケーションで効率的に思いを伝え、相手の意見を聞き取ること、自ら何か行動に移すことは、一見簡単そうに見えても意外と難しいことに気が付きました。英語はおろか、日本語でコミュニケーションができなければ一段と自分の意見を発信することは難しくなってしまいます。

この経験は、今後グローバルに活躍したいと考えている自分にとって、大いに役に立つものだと感じました。このプログラムで学んだことを日々の生活の中でも活かせるように頑張りたいと思います。



### 日独青年リーダー交流事業に参加しました

機械工学科2年 渡辺 夏海



9月9日から24日にかけてドイツで行われた日独青年リーダー交流事業に参加しました。この事業では若者の政治参画について学びました。

ドイツではベルリンとドレスデンに行きました。ベルリンではボランティア団体への訪問や講義を受けました。またドイツ側の参加者と2泊3日で合宿を行い若者の社会参画についてディスカッションしました。

ドレスデンでもボランティア団体の訪問やドイツの歴史について学びました。さらに、2日間ホームステイも行いました。

最終日には全体でドイツで学んだことについてまとめ、報告会を行いました。

ドイツではたくさんのことを学ぶことができました。この事業を通し自分自身多くのことを得ることができました。今回学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。

# 「2019年度の呉高専日誌から」

## イベント等

### 第15回呉高専文化行事が呉信用金庫ホールで開催されました

07/31

学生会広報委員長 萩原 由渉（環境都市工学科4年）

6月5日（水）第15回呉高専文化行事が行われました。今年はPercussion Performance Players通称PPPの皆さんにお越しいただきました。  
私は4度目の文化行事でしたが、例年とは少し違い、会場の観客全員でパフォーマンスに参加するような形で、昨年までとは別の楽しさがあり、ホールは大いに盛り上がりました。  
最初、私は打楽器の演奏と聞き、ただ楽器をたたくだけの演奏かと思っていましたが、実際は、たたく速さや強さを変え、一つの楽器でいろいろな音を表現するという、とても素晴らしいパフォーマンスに驚きました。  
素晴らしい演奏をしてくださったPPPの皆様、文化行事開催にあたりご支援いただきました後援会、同窓会の皆様がた、お越しくださったご来賓、保護者の皆様がたに感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 篠崎校長先生が「ちよっくれ」に登場！

07/31

電気情報工学科3年 小島 一泰、森 和哉、環境都市工学科3年 畑野 知美



学生が運営するネットラジオ「ちよっときいて呉高専」（ちよっくれ）では、今年4月に呉高専に新しく着任された篠崎校長先生とラジオ収録をしました。  
ちよっくれでは毎回放送の冒頭に「ちよっときいて〜 呉高専〜」というタイトルコールをしています。  
今回のラジオでは校長先生にもタイトルコールに参加していただきました！  
このコールをきっかけに、場の雰囲気が一気に柔らかくなり、みんないつものペースで収録が出来ました。  
ありがとうございました！  
そして事前に募集した質問をラジオ内で校長先生にお答えいただきました。  
この放送は6月30日（日）に公開しました。  
ちよっくれのウェブサイトは呉高専ホームページのバナーからアクセスでき、いつでもお聴きいただけます。  
今回はPart1で、次回も続きます。  
校長先生の魅力満載の回をお楽しみください。

### 呉市から感謝状をいただきました

07/31

総務課総務係

令和元年8月7日（水）、平成30年7月豪雨災害の復旧・復興への本校の貢献に対し、呉市から感謝状を贈呈されました。  
呉高専では、平成30年7月の豪雨災害の直後から、道路、鉄道等の寸断により発生した渋滞の対策として、路線バスの位置情報発信システムの構築と運用や、被害状況確認のため、災害現場でのドローンによる空撮、また、学生・教職員による復旧ボランティア等を行ってきました。  
当日は、呉市役所総務部危機管理監 関川 秀樹氏が本校を訪問され、篠崎校長に感謝状を手渡されました。  
呉市と本校は連携協力に関する協定を結んでおり、今後も多方面において協力・連携していきます。



### 第55回呉高専祭

11/30

広報副委員長 高田 のぞみ（環境都市工学科3年）



第55回呉高専祭が11月2日、3日の2日間を通して開催されました。  
今年のテーマは「笑いん祭っ！」当日は晴天に恵まれ例年より暖かい気候の中での開催となりたくさんの方々にご来場いただきました。  
呉高専の多くの行事の中でも、学生が中心となって作り上げる高専祭は一大イベントです。  
各クラスの模擬店やステージの企画、部活の展示やインキュベーションワークのワークショップなど呉高専の様々な一面を見ることができます。夜にはDANCE PARTYが開催され学生のダンスやゲストの出演で大変盛り上がりました。  
最後は恒例の打ち上げ花火で高専祭を締めくくります。これらの他にも高専祭には呉高専の多くの魅力が詰まっています。ぜひ1度足を運んでみてください！  
最後になりましたが、お越しくださった皆様、お力添えいただいた皆様方ありがとうございました。  
そして実行委員長の近藤聖斗さんをはじめとする高専祭実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

※高専祭の収益の半分を平成30年7月豪雨災害支援金として呉市へ寄附しました（関連記事18頁）。

# 部活動の成果・受賞実績

■ 第55回中国地区高等専門学校体育大会  
(令和元年7月5日(金)～7月7日(日)) 赤字は全国大会出場

【総合・団体】	
種目	順位
陸上競技(男子)	4位
陸上競技(女子)	6位
バスケットボール(男子)	2位
バスケットボール(女子)	予選リーグ4位
サッカー	Bパート 優勝
剣道(男子)	6位
剣道(女子)	4位
水泳	7位
バレーボール(男子)	2位
バレーボール(女子)	Aパート予選リーグ敗退
テニス(男子)	2位
硬式野球	準決勝敗退
バドミントン(男子)	1回戦敗退
バドミントン(女子)	1回戦敗退
卓球(男子)	Aパート予選リーグ敗退
卓球(女子)	Aパート予選リーグ敗退
ソフトテニス(男子)	3位
ハンドボール	Bパート予選リーグ敗退

【個人】	
種目・順位	所属・氏名
陸上競技(男子)	
100m 3位	E4 藤川 岳士
〃 4位	C3 鳥越 隼斗
200m 5位	C3 鳥越 隼斗
〃 8位	E4 藤川 岳士
400m 8位	M4 宇野 綾二
800m 4位	A3 前田 琉亮
〃 8位	M3 阿良田 翔偉
1500m 3位	A5 水野 智士郎
〃 6位	A3 竹添 慧史
5000m 1位	C3 国実 雅紀
〃 7位	A5 水野 智士郎
3000mSC 1位	C3 国実 雅紀
4x100mR 3位	M2 北恵, E4 藤川 M1 垣内, C3 鳥越
4x400mR 5位	M2 北恵, A3 前田 M4 宇野, C3 鳥越
砲丸投げ 8位	M3 安井 翔哉
陸上競技(女子)	
100m 3位	C1 福嶋 梨乃
水泳(男子)	
自由形100m 5位	E5 松本 生弥
バタフライ100m 1位	C3 小田 悠人
バタフライ200m 1位	C3 小田 悠人
水泳(女子)	
自由形50m 7位	A2 庄野 美聡
〃 8位	A3 石田 冬美
自由形100m 2位	M1 武藤 実咲
〃 6位	A2 庄野 美聡
平泳ぎ100m 6位	A3 岡本 夏海
個人メドレー200m 1位	M1 武藤 実咲
リレー200m 3位	M1 武藤, A3 石田 A3 岡本, A2 庄野
柔道	
男子個人90kg級 3位	E4 西林 寛大
男子個人90kg超級 1位	E3 和田 一輝
テニス	
男子シングルス 2位	C3 小村 亮世
男子ダブルス 2位	C3 小村, E3 木下
ソフトテニス	
男子ダブルス 2位	C4 藤原, M4 益田



■ 第54回全国高等専門学校体育大会  
(令和元年8月17日(土)～9月1日(日))

【団体】	
種目	順位
バスケットボール(男子)	予選リーグ敗退
サッカー	初戦敗退
バレーボール(男子)	予選リーグ敗退
バレーボール(女子)	予選リーグ敗退
【個人】	
種目・順位	所属・氏名
陸上競技(男子)	
100m 7位	C3 鳥越 隼斗
〃 予選敗退	E4 藤川 岳士
800m 予選敗退	A3 前田 琉亮
1500m 予選敗退	A5 水野 智士郎
5000m 13位	C3 国実 雅紀
3000mSC 7位	C3 国実 雅紀
4x100mR 8位	M2 北恵, E4 藤川 M1 垣内, C3 鳥越
柔道	
男子個人90kg級 初戦敗退	E4 西林 寛大
男子個人90kg超級 2回戦敗退	E3 和田 一輝
水泳(男子)	
バタフライ100m 2位	C3 小田 悠人
バタフライ200m 3位	C3 小田 悠人
水泳(女子)	
自由形100m 2位	M1 武藤 実咲
個人メドレー200m 1位	M1 武藤 実咲
テニス	
男子シングルス 初戦敗退	C3 小村 亮世
男子ダブルス 初戦敗退	C3 小村, E3 木下
ソフトテニス	
男子ダブルス 3回戦敗退	C4 藤原, M4 益田

■ 第28回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会  
(令和元年8月26日(月)～8月27日(火))

【団体】	
種目	順位
男子	5位
女子	優勝
【個人】	
種目・順位	所属・氏名
男子30m・50mの部	入賞なし
女子30m・50mの部 1位	C5 金岡 沙映
〃 2位	A3 藤田 薫

■ 第101回全国高等学校野球選手権広島大会  
(令和元年7月14日(日)～7月23日(月))

一回戦 呉高専 4-3 三次青陵 (みよし運動公園野球場)
二回戦 呉高専 9-2 城北 (福山市球場)
三回戦 呉高専 5-9 尾道商業 (鶴岡一人記念球場)

## 新聞・TVに載った呉高専

- 2019年4月 3日(水) 呉市観光復興プロジェクトで本校教職員・学生有志と呉市がコラボレーションスタンプを制作する様子を紹介(テレビ新広島)
- 2019年4月 3日(水) 中国新聞「安佐動物公園 身近に売店がバス待ち 呉高専生が卒業」(広島都市圏版29面)
- 2019年4月 6日(土) 中国新聞「緊急輸送尽力に感謝状 業界トップや専門家へ呉」(広島都市圏版29面; 神田教授)
- 2019年5月18日(土) 中国新聞「海自呉基地で地下施設確認 呉高専など 内部構造を調査へ」(中国わいど26面; 上寺准教授)
- 2019年5月28日(火) インキュベーションワークで学生がデザイン・製作し、呉市に導入された「時計ベンチ」を紹介(テレビ新広島)
- 2019年6月 4日(火) 朝日新聞「復興の音色」奏でる手形 豪雨1年控えJR天宮川線に絵画」(広島版21面; 雷村准教授)
- 2019年6月 6日(木) 国土交通省中国地方整備局が「災害土砂の処理に関する説明会」の出前講座を行った様子を紹介(NHK広島放送局)
- 2019年6月12日(水) 国土交通省中国地方整備局、呉市、五洋建設の協力で行われた学生を対象とした「災害土砂処分見学会」の様子を紹介(テレビ新広島)
- 2019年6月15日(土) 中国新聞「西日本豪雨の土砂処理で呉市 広島への海上輸送本格化」(呉・東広島版24面; 学生コメント)
- 2019年6月27日(木) 中国新聞「IT交通 庄原で運行実験 今秋から観光復興可能性探る」(熊本版25面; 神田教授コメント)
- 2019年7月 3日(水) 中国新聞「海自呉基地周辺の地下施設 構造や配置を完全示す 呉高専など、用途解明へ」(中国わいど26面; 上寺准教授)
- 2019年7月14日(日) 広島、豪雨被災地を支えた「臨時バス」の舞台裏「災害時BRT」の経緯、今後どう生かすか(東洋経済オンライン; 神田教授コメント)
- 2019年7月18日(木) 災害一周年を機に実施される「運動交通強靱化訓練」関係で出演(RCCラジオ「本名正憲のおはようラジオ「おはようフォーカス」」); 神田教授)
- 2019年7月19日(金) 中国新聞「豪雨救助 時差出勤訓練 23～25日 広島や呉 応急対策探る」(中国わいど26面; 神田教授)
- 2019年7月22日(月) 各交通機関が協力 災害時のスムーズな交通の実現へ訓練(テレビ新広島; 神田教授)
- 2019年7月22日(月) 西日本豪雨で大混乱、災害時の交通確保 訓練で検証(RCC中国放送; 神田教授)
- 2019年7月23日(火) 豪雨災害の教訓生かして 災害時代移行バスの運行実験(テレビ新広島; 神田教授)
- 2019年7月24日(水) 中国新聞「白球 怒涛の夏2部 呉高専の先発投手」(地域21面)
- 2019年7月30日(火) 建設通信新聞「技術士会中国本部と呉高専が連携協力 技術士、教職員双方の資力向上へ活動推進」
- 2019年7月31日(水) 中国新聞「防災教育と復興で連携 呉高専 技術士会中国本部と協定」(呉・東広島版26面)
- 2019年 8月 1日(木) 中経日報「二期トンネル現場 夏休み親子見学会 見聞と最先端技術に興味」(2面; 重松教授)
- 2019年 8月 5日(月) 東京交通新聞「災害時に公共交通確保 広島、呉の救助考える」(8面; 神田教授)
- 2019年 8月25日(日) 中国新聞「白熱 軍艦にダンス 呉で初「市長杯」5部戦に300人(呉・東広島版22面; ゴンズ助)
- 2019年 9月15日(日) 中国新聞「広島大や呉高専の学生 旧郷野小校舎を調査 西田 敬慶氏など診断」(熊本版22面)
- 2019年 9月24日(火) 中経日報「下倉准教授と呉高専生が広島県立大学見学 C+Aの新斬新な施設や施工学ぶ」(1面)
- 2019年10月 2日(水) 国の取り組みの一貫で次世代の移動サービス「Maas(マース)」の実証実験の様子を紹介(テレビ新広島・RCCテレビ; 神田研究室参加事業)
- 2019年10月 7日(月) 山陰中央新報「新交通 モデル事業続々 生活圏と観光振興狙い」(21面; 神田教授コメント)
- 2019年10月29日(火) 朝日新聞「バス乗った瞬間 動物園 安佐北 呉高専生らが企画」(広島版25面)
- 2019年11月14日(水) 中国新聞「海自呉の旧海軍地下施設 勤務経験者 聞き取り調査 呉高専など内部の様子と用途確認」(呉・東広島版26面)
- 2019年11月15日(金) 中国新聞「水素バス30日運行開始 呉市実験 効果を検証」(地域31面; 神田教授)
- 2019年11月15日(金) 海自呉の旧海軍地下施設調査について、当時少年兵だった方に概要を聞き調査を進めている様子を紹介(NHK広島「おこのみワイドひろしま」); 上寺准教授)
- 2019年12月 9日(月) インキュベーションワークでデザイン・製作した「時計ベンチ」の紹介(RCCラジオ「パブリックキノウ」)
- 2019年12月15日(日) 中国新聞「戦争の歴史 呉巡り実感 日米豪の高校生ら平和学習」(呉・東広島版22面)
- 2019年12月15日(日) 海外や日本の高校生へ旧海軍の施設を説明する様子を紹介(NHK広島)
- 2019年12月20日(金) 中国新聞「建設業界に女性 体験聞く 呉高専で交流会 技術者7人が対決」(呉・東広島版24面)
- 2019年12月24日(火) 中国新聞「道交法 A活用へ実験に成果 利用者から実用化期待」(熊本版23面; 神田教授)
- 2020年 1月13日(月) 中国新聞「スポーツはつらつ 呉高専ダンス部Ziggly-One(呉市)「見る人笑顔に」技磨く」(呉・東広島版22面)
- 2020年 1月14日(火) 中国新聞「新成人 令和にむかふ 高齢者に寄り添う/地域の魅力を発信」(社会21面; 機械工学科5年、建築学科5年学生コメント)
- 2020年 1月15日(水) 中国新聞「芸南ゆかりの文学まとめ 呉高専生ら6・7巻発行」(呉・東広島版26面)
- 2020年 1月16日(木) インキュベーションワークで開発した「ロボット呉氏」と原小学校の児童でラジオ体操鑑賞会を開催した様子を紹介(テレビ新広島「プライムニュース」)
- 2020年 1月17日(金) 中国新聞「「ロボット氏」と体操 呉高専生制作 原小児童に披露」(呉・東広島版26面)

# 教育 改革 の 成 果

※2020年1月現在

1月	第13回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストシングル部門第3位
12月	第16回全国高専デザコン：構造デザイン部門審査員特別賞／空間デザイン部門審査委員特別賞
11月	令和元年度土木学会全国大会第74回年次学術講演会：優秀講演者
11月	アイデア対決・全国高専ロボコン2019全国大会：特別賞
11月	令和元年度環境保全・交通バリアフリー国土交通省中国運輸局長表彰（神田研究室）
11月	4thSTI-GIGAKU2019:Best Poster Award 2件／Best Moderator Award
11月	第35回中国地区高専英語弁論大会：プレゼンシングル部門1位（全国大会出場）
10月	教育初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰：地理情報システム学会賞
10月	アイデア対決・全国高専ロボコン2019中国地区大会：優勝（全国大会出場）／ 技術賞／特別賞（安川電機賞）
10月	IEEEマイクロ波工学協会主催国際会議RWW2020に採択（3件）
9月	2019年度日本経営工学会春季大会：Best Presentaion Award
9月	日本設計工学会2019年度春季研究発表講演会：学生優秀発表賞
8月	アジア太平洋マイクロ波国際会議（APMC）に採択（4件）
7月	呉地域OCN会議「学生の夢実現プロジェクト」に採択：A部門2件／B部門1件
6月	2019年度日独学生青年リーダー交流派遣事業に合格
6月	トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムに採用
6月	第71回土木学会中国支部研究発表会：若手優秀発表者（4名）
4月	トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム【高校生コース】に採用
4月	欧州マイクロ波国際会議に採択（2件）

呉高専ではホームページで  
球技大会、高専体育大会、駅伝大会、ロボコン大会等、  
校内外の行事や授業風景、寮の様子、クラブ活動など日々の学生生活を  
「呉高専日誌」で紹介しています。



呉高専

検索

呉高専ホームページ  
<https://www.kure-nct.ac.jp/>



呉高専だより 79号 2020年3月

編集・発行 呉工業高等専門学校 広報室

〒737-8506 呉市阿賀南2丁目2-11

TEL. 0823-73-8964 mail. kouhou@kure-nct.ac.jp